

かわらばん100号 お祝いの言葉

地域の方々から「かわらばん100号」を記念して、お祝いの言葉をいただきました。

四日市市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 藤田 一樹

「かわらばん」100号発行おめでとうございます。子育て支援・高齢者福祉・防災・悪徳商法・豆知識など、幅広い情報がタイムリーに分かりやすく掲載されており、毎回楽しみにしています。続けられた秘訣は、民生委員児童委員さんが訪問活動の際に手渡しすることで、コミュニケーションが取れ、情報を伝えるだけでなく必要とされている情報を見つけることに繋がっているからだだと思います。これからも楽しい紙面を期待しています。

橋北地区連合自治会 会長 山内 満

日頃は民生委員皆様のご苦勞に感謝を申し上げますとともに、9年間毎月定期発行を継続されてきたことは、他地区に例をみないもので、その努力に敬意を表します。また、「かわらばん」は民生委員の活動を広く知ってもらい、機関誌として、地域をつなぐ重要な役割を果たしています。読みやすく親しみのある紙面、そして地域密着した内容で地区住民に浸透してきています。高齢化率33%の当地域は比較的活発で元気な方が多く、介護予防の各種事業も地域に広く展開しており、安心して生活できる環境が整ってきました。超高齢社会に突入、人生100年の時代、今後、益々民生委員の方々活躍が期待されるなか、地域のコミュニケーションを深め合い、今後さらに精進し、地域の「かわらばん」として期待されるよう進んで頂くことをお願いし、お祝いとお礼のごあいさつとします。

橋北社会福祉協議会 会長 伊藤 勝

橋北地区民生委員・児童委員協議会の「橋北かわらばん」100号の発行、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。記念すべき第1号は平成22年12月に発行されています。その内容は、いまだ地域の方々へ情報発信してきた「のびのび」「防災だより」を発展的に解消して、新たに「橋北かわらばん」を発行するものでした。そこに在宅介護や地域の情報を加えて内容の充実も図られているように感じました。それ以降、民生委員、児童委員の皆さんの前向きな姿勢と日々の努力によって、8年3か月で100号を発行することが出来たと思います。皆様方に対して敬意を表すとともに心より喜び申し上げます。この「橋北かわらばん」の内容は、地域の方々を知りたいことや興味がわく事をコンパクトにまとめた内容となっております。しかも短時間で読みやすく編集されています。今後とも地域の皆様との貴重な情報媒体として、更に150号、200号をめざして発行して頂きますようお願いして、100号の記念発行に当ってのお祝いの言葉と致します。

橋北地区市民センター 館長 大谷 和弘

民生委員児童委員の皆さまには平素からお世話になりありがとうございます。「橋北かわらばん」100号の発行、おめでとうございます。最新のトピックスと身近な話題満載の「かわらばん」が続いていることは、この地域に暮らす人の支えとなり、安心感に繋がっていると感じています。関係者の皆さんの編集に対する情熱とご尽力にお礼申し上げますとともに、「かわらばん」が皆さまにより一層愛される形で続いていくことを祈念しています。



橋北中学校 校長 川村 隆夫

橋北民生「かわらばん」100号の発行を迎え、本誌の発展を支えてきたパワーとこのような充実した紙面を構成される編集委員の方々の献身的な努力に驚かされています。更なる次の100号が順調に発行されていくことを祈念いたします。また、民生委員児童委員の皆様には、学校を定期的に参観してご意見をいただくなど、地域の皆様との懸け橋となって本校の教育活動に多大なるご支援とご尽力をいただいております。今後も、地域に貢献する中学生の育成をめざし地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

橋北小学校 校長 志々田 絹子

橋北民生「かわらばん」100号の発行おめでとうございます。このような広報を発行されている地域はめずらしく、橋北の素敵なところだと思います。学校での毎月の懇談会は言うまでもなく、毎年2月の入学説明会では新入生の保護者の方々と顔合わせを行っていただいております。民生委員児童委員の皆様には、大変お世話になっております。この場をお借りして深くお礼申し上げます。どうぞこれからも笑顔の絶えない学校および家庭環境づくりのために皆様のお力をお貸し下さいますようお願いいたします。

橋北こども園 園長 鈴木 美可

こんにちは、橋北こども園です。橋北民生「かわらばん」100号記念おめでとうございます。こども園開園から2年、園児161名が毎日、元気に園生活を楽しんでいます。民生、児童委員さんが園に立ち寄ってください、「様子はどうですか?」と気にかけてもらっています。こんな日常のあたたかい見守りが、園だけでなく子育て家庭の応援、そして子どもたちや地域の安全、安心につながっていると感じています。今後ともよろしくお願い致します。

橋北楽々館在宅介護支援センター センター長 岩崎 和人

橋北民生「かわらばん」100号の発行おめでとうございます。また、橋北楽々館在宅介護支援センターの記事を毎月掲載していただき大変感謝しております。100回紙面を発行するだけでなく、発行を重ねるごとに内容が充実しているところは驚くばかりで、在宅介護支援センターも見習わなければならないところだと感じております。これからも誰もが読める「かわらばん」であることを願っております。

橋北地区民生委員・児童委員協議会 会長 高井 俊夫

平成22年12月創刊して8年が過ぎ、100回目を迎えることになりました。このように長く続けることができたのも地域の諸団体をはじめ、たくさんの方のご理解、ご協力のおかげだと感謝申し上げます。今後は200回をめざし新たな気持ちで発行していきます。「かわらばん」は、民生委員活動の他、タイムリーな情報を掲載し、地域の皆様に親しまれる情報誌になるよう紙面作りしていきます。これまで以上に支援して頂きますようよろしくお願い致します。

橋北地区民生委員 編集長 山本 哲也

9年も続けることができたのは、編集委員が楽しみながら作成したからだと思います。100号続けるぞとか、頑張るぞとかではなく、こうしないといけない…と固定化した考えにならないように月2回の委員会を重ねたのが100号につながったと感じています。それぞれの委員が日ごろから少しずつ、次号の記事を意識して、気を張って進めてきました。結果、地域の情報誌として、どの地区にもない地域と民生活動をつなげる情報誌として、時には硬めの記事もあったり、超ローカルな記事もあったり、読んでいただける情報誌に育ってきたと自負しています。これからは、引き続き充実した橋北名物の「かわらばん」として発行できるように頑張らずに、気張って楽しんで編集していきたいと思っています。引き続きご愛読よろしくお願い致します。

